

医 学 部

高い責任感，倫理観，ならびに生涯学び続ける意志をもち，国際性と研究能力を兼ね備えながら，基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において，人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち，高度の専門知識・技術を基に，チーム医療，地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ，医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い，医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め，診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった，医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学，生命，健康，医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり，自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力

自然科学を理解する基礎学力に優れ，論理的な思考によって物事を理解し，適切な判断ができる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために，高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで，幅広い視野で課題の解決に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解，計算力及び論理的に思考する能力

理 科－「物理基礎」，「物理」における内容の理解，自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力
外国語，国語－基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地 歴・公 民－将来，地域や国際社会で医療人として，また，良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

●入学者選抜の基本方針

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験で「思考力・判断力」，「知識・教養」を評価し，個別試験ではこれらに加えて「応用力」も評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ，論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験で「思考力・判断力」，「知識・教養」を評価し，個別試験では，「思考力・判断力」
「関心・意欲・態度」
「応用力」
「協働性」
「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず，思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）＜主体性重視型＞

大学入試センター試験でより深い「思考力・判断力」，「知識・教養」を評価し，個別試験では，「関心・意欲・態度」
「協働性」
「幅広い視野」も重点的に評価します。高等学校等段階における多様な能力，関心などを重視し，それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。志望動機・志望理由を中心に面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	当大学・学部への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書*	推薦Ⅱ	高等学校での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を重点的に評価し、学習の記録を参考とする。なお、資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合は、個人面接において参考資料にするため、具体的に記入しておくこと。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	思考力・判断力	応用力	協働性	知識・教養	幅広い視野
(センター試験)	一般（前期）						
	一般（後期）		○			○	
	推薦Ⅱ						
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○		○	
小論文	一般（後期）	○	○	○			○
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○		○		○
志望理由書	推薦Ⅱ	○			○		○
調査書*	推薦Ⅱ	○			○		○

*一般入試（前期）、一般入試（後期）においては調査書を参考とする。